



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	32,412	0.3	2,393	△24.0	2,534	△17.8	2,128	6.1
29年3月期第2四半期	32,313	6.5	3,148	48.9	3,083	94.6	2,006	24.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,561百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △2,441百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
30年3月期第2四半期	40.70	—
29年3月期第2四半期	37.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
30年3月期第2四半期	113,518	60,885	53.5	1,191.39
29年3月期	114,357	63,504	55.4	1,192.73

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 60,737百万円 29年3月期 63,351百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
29年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
30年3月期	—	17.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	68,000	4.9	5,000	10.1	5,000	12.7	3,800	7.2
								円銭
								74.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	53,119,190 株	29年3月期	53,119,190 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,139,085 株	29年3月期	4,192 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	52,286,858 株	29年3月期2Q	53,115,278 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 主要製商品売上高 連結	11
(3) 新薬パイプラインの状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、朝鮮半島の政治的緊張の高まりなどの不安要因もありましたが、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しにより全体としては引き続き緩やかな回復基調を辿りました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、医療費抑制策の一環として後発医薬品の使用が引き続き強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、324億12百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。一方、利益につきましては、研究開発費などの経費が増加したこともあり、営業利益は23億93百万円（前年同四半期比24.0%減）、経常利益は25億34百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益に投資有価証券売却益を計上したことにより、21億28百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」につきましては、国内において後発品の影響を受けたものの、海外が順調に推移し、全体としては堅調な推移となりました。なお、国内においては、平成29年5月に1日1回の用法・用量の承認を取得し、製品競争力を向上させました。また、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、売上を拡大いたしました。市場構築が計画対比では遅れる状況となっており、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起しに努めております。一方、炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort®」（国内販売名：「ゼンタコート®」）につきましては、一部の地域において、AstraZenecaからの販売移管後の営業展開が計画対比遅れており、挽回に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、178億96百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

## ②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」及び「ウイズワン®群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上に努めた結果、引き続き売上を拡大いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、市場競争の激化により苦戦いたしました。なお、平成28年10月よりイオナ インターナショナル株式会社から当社へ販売業務を移管した「イオナ®」化粧品につきましては、新体制の下、引き続き市場拡大に注力しております。

これらの結果、当事業の売上高は、144億39百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

## ③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は76百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,135億18百万円となり、前連結会計年度末対比8億39百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が405億47百万円で、前連結会計年度末対比17億82百万円の増加、固定資産が729億70百万円で、前連結会計年度末対比26億22百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加15億23百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加5億98百万円、前渡金の減少等流動資産のその他の減少5億76百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、投資その他の資産の減少18億円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は526億32百万円となり、前連結会計年度末対比17億79百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が394億49百万円で、前連結会計年度末対比57億28百万円の減少、固定負債が131億83百万円で、前連結会計年度末対比75億8百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の減少40億70百万円、未払法人税等の増加4億27百万円、未払金の減少等流動負債のその他の減少15億76百万円であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の増加69億34百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は608億85百万円となり、前連結会計年度末対比26億19百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上21億28百万円、前期末配当の実施8億49百万円、自己株式の増加43億23百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.9%低下し、53.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比15億23百万円増加し、106億42百万円となりました。これは、主に財務活動によるキャッシュ・フローが30億1百万円のマイナスであったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが34億16百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが8億79百万円のプラスであったためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は34億16百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比7億30百万円減）。これは、税金等調整前四半期純利益の計上31億39百万円、減価償却費の計上15億64百万円、のれん償却額の計上3億45百万円、投資有価証券売却損益（益）の計上6億5百万円、たな卸資産の増加5億26百万円、仕入債務の減少3億6百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は8億79百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比44億38百万円増）。これは、有形固定資産の取得による支出14億15百万円、投資有価証券の取得による支出4億73百万円、投資有価証券の売却による収入30億35百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は30億1百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比4億81百万円減）。これは、短期借入金の減少65億23百万円、長期借入れによる収入98億68百万円、長期借入金の返済による支出11億59百万円、自己株式の取得による支出43億31百万円、配当金の支払8億47百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は当初予想を若干下回りましたが、利益面では当初予想を上回る結果となりました。

なお、平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました通期連結業績予想から変更しておりません。詳細は平成29年10月20日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,250,770	10,774,254
受取手形及び売掛金	16,620,483	16,851,993
有価証券	100,000	107,098
商品及び製品	4,907,424	5,492,282
仕掛品	852,370	824,806
原材料及び貯蔵品	2,848,742	2,889,768
その他	4,218,589	3,642,134
貸倒引当金	△33,386	△34,393
流動資産合計	38,764,995	40,547,945
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,915,466	7,665,033
土地	11,698,480	11,699,207
その他（純額）	4,540,381	4,314,953
有形固定資産合計	24,154,328	23,679,193
無形固定資産		
のれん	9,240,155	8,947,754
販売権	17,922,410	17,665,276
その他	6,722,426	6,925,096
無形固定資産合計	33,884,992	33,538,127
投資その他の資産		
投資有価証券	9,206,415	7,494,730
退職給付に係る資産	7,686,879	7,519,872
その他	701,435	781,298
貸倒引当金	△41,378	△42,722
投資その他の資産合計	17,553,351	15,753,179
固定資産合計	75,592,673	72,970,500
資産合計	114,357,668	113,518,446
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,272,697	1,981,496
短期借入金	33,061,728	28,991,487
未払法人税等	403,135	830,275
賞与引当金	1,224,036	1,000,187
返品調整引当金	48,013	58,209
売上割戻引当金	129,095	124,477
その他	8,039,317	6,463,156
流動負債合計	45,178,025	39,449,290
固定負債		
長期借入金	2,884,150	9,819,070
退職給付に係る負債	757,497	925,310
資産除去債務	54,499	54,629
その他	1,978,849	2,384,586
固定負債合計	5,674,996	13,183,596
負債合計	50,853,021	52,632,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	39,654,887	40,933,365
自己株式	△5,283	△4,328,868
株主資本合計	57,928,123	54,883,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231,982	426,221
為替換算調整勘定	2,520,848	2,793,391
退職給付に係る調整累計額	2,670,817	2,634,587
その他の包括利益累計額合計	5,423,648	5,854,200
非支配株主持分	152,874	148,342
純資産合計	63,504,646	60,885,559
負債純資産合計	114,357,668	113,518,446

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
売上高	32,313,608	32,412,637
売上原価	8,862,561	9,462,208
売上総利益	23,451,046	22,950,429
返品調整引当金戻入額	58,381	48,013
返品調整引当金繰入額	62,630	58,209
差引売上総利益	23,446,797	22,940,233
販売費及び一般管理費	20,298,136	20,546,664
営業利益	3,148,661	2,393,569
営業外収益		
受取利息	2,010	3,431
受取配当金	151,748	133,770
為替差益	—	54,968
その他	80,890	60,986
営業外収益合計	234,649	253,156
営業外費用		
支払利息	138,313	93,319
為替差損	106,962	—
その他	54,577	18,725
営業外費用合計	299,853	112,044
経常利益	3,083,458	2,534,681
特別利益		
投資有価証券売却益	216,435	605,773
特別利益合計	216,435	605,773
特別損失		
固定資産除却損	2,161	563
特別損失合計	2,161	563
税金等調整前四半期純利益	3,297,731	3,139,890
法人税等	1,269,143	1,000,638
四半期純利益	2,028,588	2,139,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,743	10,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,006,844	2,128,318

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,028,588	2,139,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△722,390	194,238
為替換算調整勘定	△3,606,633	264,333
退職給付に係る調整額	△140,976	△36,230
その他の包括利益合計	△4,470,000	422,341
四半期包括利益	△2,441,411	2,561,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,413,621	2,558,869
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,789	2,724

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,297,731	3,139,890
減価償却費	1,582,021	1,564,302
のれん償却額	347,582	345,512
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△212,103	△227,037
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	190,543	195,836
受取利息及び受取配当金	△153,759	△137,202
支払利息	138,313	93,319
投資有価証券売却損益 (△は益)	△216,435	△605,773
売上債権の増減額 (△は増加)	△548,653	△122,792
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△369,077	△526,231
仕入債務の増減額 (△は減少)	261,922	△306,334
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△46,384	578,729
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	246,432	△544,610
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	13,477	76,631
その他	△26,434	29,324
小計	4,505,177	3,553,567
利息及び配当金の受取額	153,786	139,342
利息の支払額	△139,897	△82,721
法人税等の支払額	△372,517	△193,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,146,549	3,416,476
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,184,056	△1,415,192
無形固定資産の取得による支出	△2,161,838	△125,929
投資有価証券の取得による支出	△1,737,947	△473,520
投資有価証券の売却による収入	1,519,292	3,035,847
その他	5,154	△142,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,559,396	879,054
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,229,432	△6,523,340
長期借入れによる収入	—	9,868,320
長期借入金の返済による支出	△6,309,900	△1,159,900
自己株式の取得による支出	△214	△4,331,954
配当金の支払額	△846,427	△847,562
非支配株主への配当金の支払額	△12,113	△7,255
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△580,608	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,519,831	△3,001,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,248,775	229,645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,181,453	1,523,484
現金及び現金同等物の期首残高	12,210,988	9,118,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,029,534	10,642,136

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,783,972	14,459,993	32,243,965	69,642	32,313,608	—	32,313,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	83	83	278,672	278,755	△278,755	—
計	17,783,972	14,460,076	32,244,049	348,314	32,592,364	△278,755	32,313,608
セグメント利益	1,970,743	3,736,620	5,707,363	119,047	5,826,411	△2,677,749	3,148,661

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,677,749千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,896,494	14,439,543	32,336,038	76,599	32,412,637	—	32,412,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52	52	260,256	260,309	△260,309	—
計	17,896,494	14,439,596	32,336,091	336,855	32,672,947	△260,309	32,412,637
セグメント利益	1,610,886	3,276,823	4,887,710	124,253	5,011,963	△2,618,394	2,393,569

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,618,394千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：千円）

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	17,896,494	0.6
コンシューマーヘルスケア事業	14,439,543	△0.1
報告セグメント計	32,336,038	0.3
その他	76,599	10.0
合計	32,412,637	0.3

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

## (2) 主要製商品売上高 連結

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増減(△)率(%)
1. 医療用医薬品事業	17,783,972	17,896,494	0.6
アサコール*	8,802,461	8,965,426	1.9
エントコート*	2,448,757	2,331,280	△4.8
アコファイド*	1,078,733	1,661,481	54.0
プロマック*	1,352,937	1,103,298	△18.5
アシノン*	1,165,456	977,138	△16.2
その他	2,935,626	2,857,868	△2.6
2. コンシューマーヘルスケア事業	14,459,993	14,439,543	△0.1
ヘパリーゼ*群	5,669,936	6,017,365	6.1
コンドロイチン群	3,617,027	3,298,821	△8.8
ウィズワン*群	785,773	801,739	2.0
その他	4,387,254	4,321,616	△1.5
3. その他の事業	69,642	76,599	10.0
合 計	32,313,608	32,412,637	0.3

## (3) 新薬パイプラインの状況

## I. 国内開発状況

(平成29年11月2日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅡ (アジア共同治験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

## 発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
平成29年5月18日	Z-206/メサラジン (アサコール®用法・用量追加)	ゼリア (協和発酵キリン との共同開発)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
平成28年11月29日	ブデソニド (製品名:ゼンタコート®)	アストラゼネカ	クローン病	糖質コルチコイド	導入品

## II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
承認申請中 (欧州)	TP05/メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州・米国)	TP09/ CPP-1X・スリンダク	Tillotts Pharma (Cancer Prevention Pharmaceuticals との共同開発)	家族性大腸腺腫症	ポリアミン合成抑制	導入品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品